

社会「社会運動の広がり ―差別問題―」

1 授業のポイント1

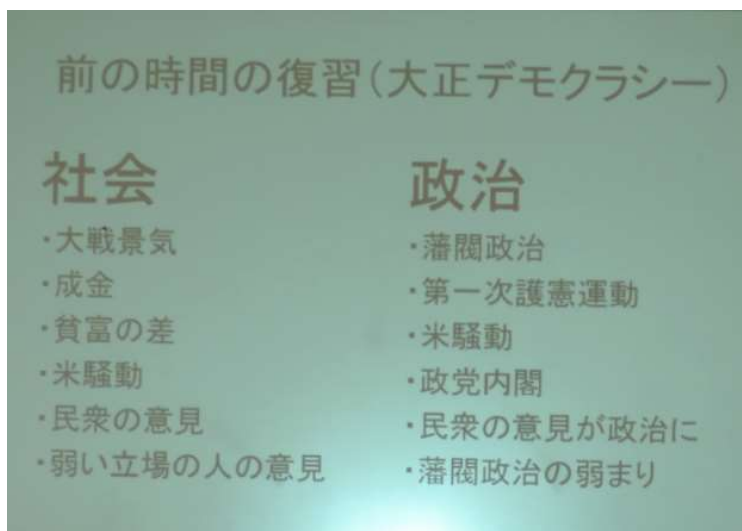
○時事問題を考える「AIについて」



教育では、新しい内容として「プログラミング教育」が始まりました。AIやロボットをテーマにした発表がありました。

2 授業のポイント2

○前時の復習

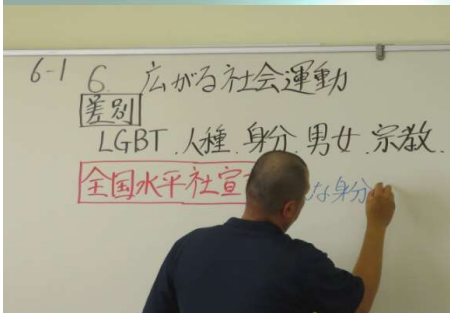


3 授業のポイント3

○写真「少年の演説」を元に考えよう



写真を基に気づいたことを
話し合しましょう！



3年社会科授業プリント 歴史No11 資料編

【資料①】

全国水平社宣言 (読みやすくしたもの)

長い間いじめられてきた兄弟よ。
わたしたちの祖先は、のどから手が出るほど自由と平等にあこがれていた。
しかし、ひきょうな身分制度のぎせいにされ、人のいやがる仕事を与えられ、その仕事に命をささげてきたのだ。けもの皮をはぐ報しゅうとして、生き生きと生きる人間の心をふみにじられ、その上くだらない、いやしいとばかりにされ、つばをはきかけられてきたのだ。それでも、ほこりをもった人間の血は、まだ失われていなかったのだ。
そうだ今わたしたちは、この血を受けついで、人間を取りもどす時代をむかえたのだ。ぎせ

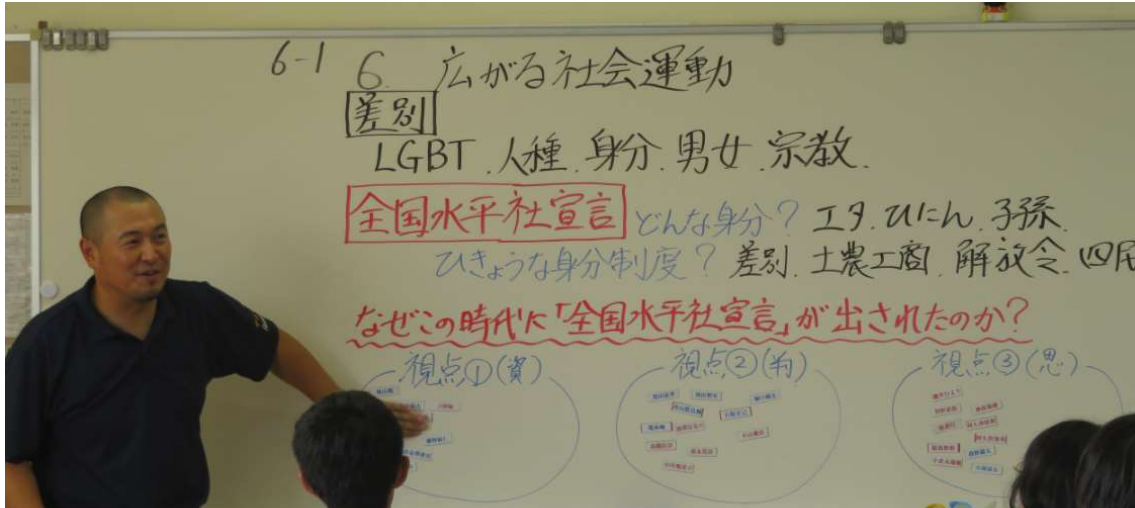


差別の例

- ・LGBT
- ・人権
- ・身分
- ・男女

4 授業のポイント4

○課題「なぜ、この時代に【全国水平社宣言】が出されたのか？」



3つの視点から課題に取り組んでみよう?

①これまでの学習から
(江戸～明治)

江戸時代にXされた
土農工商の下につくられ
た身分による差別は明治
解放令, 四民平等による
差別は減ったが, 身分
場所や仕事による差別は
残った。

②この時代のようにから
(大正デモクラシー)

第一次護国運動
と, 民衆の権利
はぐえ, 大正の時代
民権主義

③山田少年の願いから
(人々の思い)

今後, 自分のお子
まも子孫にまもられ
たい。

5 授業のポイント 5

○ 3つの視点「これまでの歴史」「この時代背景」「演説している少年の願い」から課題の理由を考えよう

3つの視点から課題に取り組んでみよう？

- ①過去:これまでの歴史学習から
(これまでの歴史学習を振り返ってみると?)
- ②現在:この時代のようにから
(現在学習している時代ってどんな時代?)
- ③未来:山田少年の願いから

6月21日(金) 藤野 統仁

「全国水平社宣言」が出た

民本主義 視点②(判)

山田少年の願い

何を? →全国水平社
いつ? →1922年(大正11年)
誰が? →被差別部落の人々
背景? →大正デモクラシーの風潮
⇒ 社会運動の広まり
目的? →自らの手で差別からの解放を目指した!
宣言? →全国水平社宣言
⇒日本で最初の人権宣言

6月21日(金) 藤野 統仁

広がる社会運動と
普通選挙の実現

デモクラシーの風潮

社会運動の
広がり